

1日も早い災害廃棄物処理を目指します



フジタ・東亜・青木あすなろ・大豊・本間・河北・佐藤JV

## 焼却灰中のセシウム洗い出し実証試験をしています

二次仮置き場で、山元JV代表会社のフジタが、環境省の平成25年度除染技術実証事業として「焼却灰中放射性セシウムの高効率洗い出し技術の実証」を行っています。焼却飛灰中の放射性セシウムを間欠散水・通気により従来の洗浄方法の約1/10の水量で同等の洗浄効果を得られることを実大規模で実証するものです。山元JVから出る飛灰は約2,000 Bq/kg程度であり、順調に埋立処分が行われていますが、福島県内などでは、8,000Bq/kgを超える飛灰が発生しています。洗浄により8,000Bq/kg以下にすることで従来通り処分でき、指定廃棄物の減容化を実現する技術です。



実証試験の様子



散水状況

山元JV 佐山事務員  
よりひとこと



事務の佐山です。仕事は明るく楽しくと思っております。被災してからというもの、時折、後ろ向きな考えをおこすことがあります。がたくさんの人に出会って助けていただいております。そのたびに皆さんに感謝して日々をすごしています。ありがとうございます。

Q: 焼却灰の処分場への搬出は進んでいるのでしょうか？

A: 13年3月号でもお知らせしましたが、1月より仙南地域広域行政事務組合の仙南処分場(白石市)に飛灰の搬出を開始、3月より宮城県環境事業公社の小鶴沢処理場(黒川郡大和町)に主灰の運搬を開始、6月10日より亙理名取共立衛生処理組合の亙理一般廃棄物最終処分場(亙理町)に運搬を開始して、順調に処分が進んでいます。焼却は12月中旬までを予定しており、焼却灰は年度内にすべて最終処分する予定です。

## 処分量(9月20日現在)

		変更予定量(t)	累計処理量(t)	進捗率(%)	備考
焼却量		117,000	113,364	97%	主灰:36,342t、飛灰:4,238t
搬入量	木くず	67,000	62,481	93%	
	混合ごみ	387,000	302,818	78%	
	コンクリートくず	170,000	210,570	124%	
	津波堆積物	513,000	570,029	111%	かさ比重は1.46t/m <sup>3</sup> とした
搬出量	コンクリート再生骨材	199,000	222,219	112%	
	津波堆積物処理土砂	782,000	801,012	102%	新浜の仮置場等への搬出量
	主灰搬出(小鶴沢)	13,500	6,191	46%	
	主灰搬出(亙理名取共立)	1,200	2,764	230%	
	飛灰搬出(仙南)	1,500	1,344	90%	

## 10月の業務予定

	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
【破碎選別工】					
災害廃棄物	運搬、破碎				
津波堆積物(二次仮置場)	運搬、選別				
津波堆積物(後藤瀬)	運搬、選別				
焼却灰固体化不溶化処理	固体化・不溶化				
【搬出工】					
津波堆積土砂	新浜仮置場へ搬出				
コンクリートがら	新浜仮置場へ搬出				
主灰	亙理名取共立処理場へ搬出				
飛灰					
ボード類	小鶴沢処理場へ搬出				
【焼却工】					
キルン炉・ストーカ炉	焼却				

### 焼却灰の放射能濃度

主灰	760Bq/kg	9月24日
飛灰	2190Bq/kg	測定

二次仮置場の空間線量(μSv/h)  
9月20日測定

事務所前	0.037
木くず	0.051
コンクリートがら	0.056
津波堆積物	0.129
金属くず	0.061
主灰保管テント内	0.119
飛灰保管テント内	0.369

※地上1mの高さ、廃棄物から1mのところ測定しています

お問い合わせは  
0223-37-7451  
まで

発行: 災害廃棄物処理業務(亙理名取ブロック(山元処理区))  
フジタ・東亜・青木あすなろ・大豊・本間・河北・佐藤 特定業務共同企業体  
〒989-2202 宮城県亙理郡山元町高瀬字浜砂1-4  
電話:0223-37-7451